

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等スペースとの関係で適切であるか。	5		運動メニューによってスペースの使い方を工夫しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	配置数は適切だが、利用者様の特性に合わせた対応をする際に追加配置があると助かるように感じる時があるため、シフトの組み方を工夫しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		利用者様に分かりやすく行動の手順などを可視化しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		フロア全面にマットを敷いており、運動時の衝撃を緩和しています。汚れた際にも掃除がしやすく清潔に保つように気を付けています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用する事が認められる環境になっているか。	4	1	クールダウンをする場所をよりシンプルな空間が確保できるように物の配置を改善していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	個々では行っていますが、職員間での共通認識を持てるように全体で確認する時間をさらに作っていきたいと思います。
	7	保護者等向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者向け評価表の取り組みにより、改善へ繋げています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3	現場内での意見交換は行っていますが、職員面談のようなはっきりとした枠組は行えておらず、今後は把握する為の時間を作りたいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		毎月、専門化の評価を受け、改善に繋げております。
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	非常勤職員も研修に参加できるよう今後の課題として調整していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページにて記載しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		モニタリングや保護者面談等を実施し、ニーズに合わせた対応をしております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員全体で情報共有し、検討しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員全体で個別支援計画やモニタリング等の情報を共有・検討し、支援を行っています。

## 適切な支援の提供

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		アセスメントに加え、日々の行動観察も含めて確認しています。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	具体的に設定されているかわからないと感じた職員がいたため、より具体的な言葉を用いて表記するよう改善していきます。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		主に現場の進行を担う職員を中心に立案し、チーム全体で共有・確認しています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		各週で内容を変更したり・課題要素を加えたり等の変化をつけています。達成目標の設定も変更し、固定化しないよう工夫しています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後デイサービス計画を作成し、支援しているか。	5		利用者様の状況に合わせて、集団活動に加えて個別活動も対応できるようにしています。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	2	毎日決まった時間に打ち合わせはできていませんが、その日の利用者様の情報や運動メニューに合わせた役割分担について話し合っています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	その日の出勤者で活動終了後に話し合っていますが、職員の勤務体制により翌日も情報共有を行っています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		活動進行者が主に記録を残し、共有して検討しています。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	体制を整えており、外部のケース会議等に参加し個々の必要に応じて連携をとっております。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5		

関係機関や保護者との連携

29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	日々の送迎時に情報共有したり、ご家族の意向に沿って情報共有しています。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	とわねは小学生までの利用となるため、中学生で利用する予定の他事業所へ情報提供を行っております。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受けている機会を設けているか。	2	3	現在は機会が少ない為、今後必要時には積極的に助言や研修を受けられるように体制を整えていきます。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		併設している放課後児童クラブとイベントを通して関わる機会や一緒に活動する機会を設けています。地域のこども達と活動するイベントとしてサンハートこども祭りも行っております。
33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	機会があった際には参加していきたいと思っております。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等が行っているか。	2	3	情報提供は日頃から行っていますが、ペアレント・トレーニングは行っていないため、今後の検討課題とさせていただきます。
36	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に丁寧に説明しております。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		
39	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		年に1度こども祭りを開催し、ご家族皆様での参加を歓迎しています。交流の機会を設けております。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	社内で話し合い、保護者の方へ迅速な対応ができるように努めます。

保護者への説明等

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を利用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	5		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		こども祭りの行事を行ったり、高松市の児童を対象にシンポジウムを開催しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに発生を想定した訓練を実施しているか。	5		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2	通常の訓練に加え、その他必要な訓練をピックアップし、職員が万全の対策をとれるようにしていきます。消防署職員の方をお招きし、救命講習を年に1回行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		緊急時の対応や緊急連絡先等を確認しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		現在、対象のお子さまはおりません。